

大内中学校通信 紺碧

真岡市立大内中学校 TEL 0285-82-2541
〒321-4405 真岡市飯貝1159
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchjhsc>



大内中シンボル・
キャラクター
「モーウチモカ」

- 学校教育目標
- 1 意欲をもって学習する生徒
 - 2 豊かな心情をもつ生徒
 - 3 健康で実践力に富む生徒
 - 4 すすんで働く生徒

真岡市立大内中学校
令和7年度 第7号
令和7年11月発行

校長室から

地球の未来と「大内中SDGs宣言」

朝夕の冷え込みが厳しさを増し、冬の訪れが間近に感じられる季節となりました。10月25日(土)の紺碧祭には、多くの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。

また、10月27日(月)には、県学校音楽祭中央祭(合唱)、10月28日(火)には、郡市中学校駅伝競走大会が開催され、生徒たちは日々の練習の成果を存分に発揮してくれました。早朝練習等で御協力を賜りました保護者の皆様には、改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、11月10日から、ブラジルのベレンで「COP30(国連気候変動枠組み条約第30回締約国会議)」が開催されます。この会議は、地球温暖化対策の国際ルールを話し合う大規模な国際会議で、COP3の京都議定書やCOP15のパリ協定などが有名です。パリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追求すること」が目標とされました。COP26では、「平均気温上昇1.5度以内」がより強調された形で、「グラスゴー気候合意」が採択されました。地球温暖化に伴う海面上昇の影響で、存続の危機にさらされている南太平洋の国・ツバルの外相が、既に水没したかつての陸地から、ひざまで水につかりながら訴えた苦境にも切迫感がありました。果たして、地球温暖化の現状は、どのようなものなのでしょうか。

◆地球の大気には生命活動に必須の酸素がふんだんにあり、温室効果をもつ二酸化炭素が適度にブレンドされている。そのため、地表の年平均気温は15°C前後で、昼夜の寒暖差も小さく、生命にとってまさに「奇跡の星」となっている。現在は非常に穏やかな気候になっているが、地球が約46億年前に誕生してから現在に至るまで、その気候は激しく変化してきた。

◆地球は過去において複数回、赤道付近まで氷に覆われる「スノーボールアース(雪玉地球)」の時代を経験している。氷床の厚さは1000m以上にも及び、液体の水は深海底や火山周辺の地熱地帯にしか存在しなかった。反対に、恐竜の全盛期と言われる白亜紀は非常に高温で、極地方にすら氷床が存在しない「グリーンハウスアース(温室地球)」の状態であった。

◆現在は、氷河時代の比較的温暖な時期である間氷期であり、氷床はグリーンランドや南極大陸など極地方にのみ存在している。

◆気候変化の要因は様々だが、最も大きな影響力を持つのが大気中の二酸化炭素濃度である。急激な気候変動にブレーキを掛け、一定の振幅に収めているのは、大気とそれ以外の地球(海やマントルなど)との間の炭素のやりとりである。

◆しかし、近年、この抜群のフィードバックシステムにほころびが生じている。原因是、化石燃料の使用に伴う、二酸化炭素を中心とした温室効果ガスの大気中への大量放出である。間氷期には約280ppmでほぼ一定だった二酸化炭素濃度は、産業革命以降増え続け、2018年には400ppmに達している。わずか250年足らずで1.4倍に急増、この急激な二酸化炭素濃度上昇と連動するように地球の平均気温は上昇し、2017年時点で産業革命前より1°C上昇、2040年頃には、1.5°C程度の上昇になると言われている。

◆このまま温暖化が進行すると、極域にある巨大氷床の融解が進み、海面が今より10~60m上昇する可能性があり、仮に海面が60m上昇すると海岸線が真岡市付近まで来るなど、関東平野はその大部分が水没してしまう。(参考文献:「地球46億年 気候大変動」横山祐典著 講談社)

このように、二酸化炭素濃度の上昇に伴う地球温暖化は、産業革命以降、非常に短期間で進行し、海面上昇や気候変動等により、世界に危機的状況をもたらしつつあります。このことについて、私たち大人はもちろんですが、未来を生きる生徒たちにも、自分自身の問題として意識してもらう必要があります。SDGsとは「持続可能な開発目標」のことであり、環境問題を含む17のゴールと169のターゲットから構成された国際目標です。3学期には、生徒会が中心となって「大内中SDGs宣言」を発出し、今自分たちができるることを明らかにするとともに、問題解決に資する具体的な取組をスタートする予定です。アメリカ先住民の言葉に、「地球は先祖から譲り受けたものではない。子孫から借りているものだ。」というものがあります。私たちの子孫に、「奇跡の星・地球」を持続可能な状態で返せるよう、「大内中SDGs宣言」とともに大内中は確かな一步を踏み出します。

【県新人陸上競技 10/14(水)】

下野市の大松山運動公園陸上競技場で行われ、2年女子800mで日下田心那さんが6位入賞を果たしました。

【県新人各種大会 10/17(金)～19(日)】

＜バレーボール＞第3位

＜剣道団体＞2回戦敗退



＜剣道個人 武田賢人さん＞1回戦敗退

【英語スピーチコンテスト 10/21(火)】

3年鈴木利徳翔さんと2年秋山愛菜さんが出場しました。練習以上の発表となりましたが、県大会出場はなりませんでした。御声援ありがとうございました。

発表内容

3年鈴木利徳翔さん

「What can we do with AI?」
(AIで何ができる?)

2年秋山愛菜さん

「Rescued Cats」(保護猫)



【栃木県学校音楽祭中央祭 10/27(月)】

特設合唱部が「響き合う命」という歌で県大会に出場しました。地区大会よりもレベルを上げて臨みましたが、結果は銀賞でした。生徒達は精一杯のハーモニーを響かせてくれました。お世話になりました。



【都市駅伝競走大会 10/28(火)】

特設駅伝部が出場しました。今年は井頭公園が工事のため使用できず、ハイトラ運動公園陸上競技場でたすきをつながないトラックレースとなりました。生徒達は精一杯がんばりました。保護者の皆様、朝練にも御協力いただきましてありがとうございました。

【最終結果 男子 14位 女子 9位】

御声援ありがとうございました。

【紺碧祭(学校祭) 10/25(土)】

近年まれに見るレベルの高い合唱コンクール、練習を重ねた吹奏楽部や英語スピーチ、会場を大いに盛り上げた自由発表、フォトスポットやサツマイモ販売などの新企画。地域の方や保護者の方、卒業生などたくさんの方にお越しいただきありがとうございました。



※学校のホームページも御覧ください。よろしければ凸(いいね)ボタンを押してください。